

8つの未来像の実現を目指して

町では、第6次杉戸町総合振興計画にて、特に取り組むべきテーマとして、未来像8つを位置付け、その実現に向けて、様々な施策を推進してまいります。

未来像1

まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち

子育て分野の未来像1に関する事業については、安心して子育てできる環境をつくるため、こども医療費

については10月より、ひとり親家庭等医療費については、令和5年1月より、窓口払いの廃止を県内の医療機関へ拡大するとともに、子育てに関する悩みを総合的にサポートするための窓口として子ども家庭総合支援拠点を設置します。

また、ひとり親家庭に対する町独自の支援として、養育費不払い問題に対する支援事業、ひとり親家庭へのファミリーサポートセンター利用支援事業を実施します。



杉戸子育て支援センターで遊ぶ子どもたちの様子

また、待機児童の解消のため、旧杉戸小学校跡地の一角に定員100名規模の民間保育園を誘致し、その建設事業費の補助を実施することで、令和5年度からの運営開始を目指します。

また、安心して出産できる環境づくりのため、産婦健康診査の支援や、産後うつなどを防止する産後ケア

事業（宿泊型）を新たに実施し、出産後の母親のサポート体制を強化してまいります。また、コロナ禍において出会いの機会が少なくなっている状況を打破し、結婚へのきっかけづくりをするため、県の出会いサポートセンターである「恋たま」への登録料の助成を、県内市町村で初めて実施します。

未来像2

子どもたちに未来を拓く力を育むまち

学校教育分野の未来像2に関する事業については、小・中学校における学力の向上を目指し、引き続き、総合学力向上を図るための総合学力調査、読解力向上を図るためのリーディングスキルテストを実施するとともに、英語力の向上を図るため、英語検定を受験する生徒に対する受験料の一部を補助いたします。

また、児童生徒が安心して学習に専念できるように、施設環境整備として、広島

未来像3

生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち

中学校の校舎等改修事業に着手するとともに、西小学校体育館天井鉄骨の塗装工事など、学校施設の老朽化への対応を実施します。

社会教育分野の未来像3に関する事業については、引き続き、図書館まつり、ブックスタート事業、ライブラリースタート事業などを図書館で実施し、本に親しむきっかけをつくります。

また、すぎと町民大学においては講演会を充実させるなど、町民の知的好奇心を満たす環境づくりを推進してまいります。

未来像4

自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち

健康・福祉分野の未来像4に関する事業については、障がい者支援としまして、

未来像5

地域がつながり、安全で災害に強いまち

防災・交通・防犯分野の未来像5に関する事業については、避難所において避難者が災害情報等の収集を行えるよう、持ち運び可能なWiFiルーターを整備するとともに、若者の防災リーダーを育成するために、高校生の防災士取得の支援をしてまいります。

また、交通事故や犯罪の予防のため道路照明灯のLED化を推進するほか、引き続き、スケアード・ストリート教育技法による交通安全教育の推進や、空き家問題への対応なども継続してまいります。

未来像6

魅力ある産業を育み、発信できるまち

産業・情報発信分野の未来像6に関する事業については、収入安定化による農

業経営支援のために、農業収入保険の保険料の助成を新規に開始するとともに、農地の1区画あたりの面積を大きくし、効率的な農業経営を可能とするための「ほ場」拡大に対する助成を、従来実施されなかった区域についても町独自に開始します。

また、「アグリパークゆめすぎと」のさらなる活用を見据えて、公共下水道接続のための準備を進めてまいります。

また、コロナ禍における地元企業を支援するため、小規模事業者経営改善資金の利子補給を引き続き実施するとともに、アフターコロナを見据えて経営状況を改善しようとする中小事業者に対して、新商品開発や人材育成等のビジネスパートナーシップ事業についての補助を新規に実施してまいります。

また、空き家や空き店舗を活用して、創業を検討している事業者に対して、改修工事費や備品購入経費の助成を新規に行い、創業支援及び商工業の活性化につなげてまいります。



杉戸町農業祭の様子

また、令和3年度に新たに開催した杉戸町農業祭を継続して実施するほか、日光街道杉戸宿「宿場まつり」についても、コロナ禍の状況に鑑み、内容や開催方法に創意工夫をした上で実施をし、杉戸町を盛り上げていきたいと考えております。

未来像7

機能的で自然と調和した快適なまち

都市基盤・環境分野の未来像7に関する事業については、近時多発する通学路における事故を予防し、児童生徒等の安全を確保する

ため、計画的に通学路の修繕等を実施してまいります。また、安全な道路環境を確保するため、15m以上の橋りょうの点検を実施し、橋りょう全体の長寿命化修繕計画の見直しをすることにも、引き続き、町道Ⅱ級18号線道路改良事業を推進してまいります。

また、町の未来への大きな投資となる東武動物公園駅東口通り線の整備、旧杉戸小学校跡地の活用については、引き続き着実に推進していくほか、新たに事業開始される宮代町と杉戸町を結ぶ新橋通り線の街路事業についても、準備を進めてまいります。

また、SDGsに配慮した環境政策の指針となる第2次杉戸町環境基本計画を策定するとともに、低炭素社会に向けた取組として、引き続き、住宅用太陽光発電システムや蓄電システム、次世代自動車購入への助成を行うてまいります。

未来像8

信頼される行政運営を推進するまち

行財政運営分野の未来像8に関する事業については、町民の議会に対する関心を高め、信頼される議会を推進するため、議会の録画配信を開始します。

また、西仮グラウンドの利活用については基本方針の策定、役場新庁舎の整備については基本構想の策定に向けた準備を進めてまいります。

そして、最後になります。が、新型コロナウイルス感染症への対応として、自宅療養者に対する食料品や日用品の配布などを実施してまいります。なお、新型コロナウイルスウイルス感染症を取り巻く状況はその都度大きく変化するものですので、その時々で最善の策を講じられるよう、関係各所と協力の上、柔軟かつ迅速に対応してまいりたいと考えております。